

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
110024	XXX1110024	2	後期	国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
				国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	基礎	選択	3年
福祉社会論	阿部 春江			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	基礎	選択	3年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	基礎	選択	3年
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	基礎	選択	3年		
授業目的							
社会福祉とはわたしたちの生活問題を支援・解決し予防していくことである。最初に時代とともに変化してきた社会福祉政策の歴史や市場の論理とは異なる視点を持つ福祉思想について学ぶ。次に現代社会の状況や社会福祉の課題について理解するとともに、利用者にとって望ましい福祉サービスのあり方について習得する。また身近な生活問題に対して援助活動を実践していくための基本について学ぶ。 授業は前半を講義形式、後半は事例検討等をグループごとで行い考察を深める。適宜DVDを活用し理解を深める。							
各回毎の授業内容							
第1回 【授】はじめに 【前・後】予習・復習に4時間。以下、毎週同じ。				第9回 【授】社会福祉と身近な生活問題3 一若者の課題の複雑さ一 【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。			
第2回 【授】社会福祉の思想1 一社会福祉における自立の概念一 【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。				第10回 【授】サービスの利用 一福祉サービスの利用主体と利用支援一 【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。			
第3回 【授】社会福祉の思想2 一自立生活支援の考え方一 【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。				第11回 【授】相談援助の視点1 一生活モデルの視点とエンパワメント一 【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。			
第4回 【授】社会福祉の思想3 一ノーマライゼーションとソーシャルインクルージョンの思想一 【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。				第12回 【授】相談援助の視点2 一コミュニケーションスキルと困難事例一 【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。			
第5回 【授】社会福祉の思想4 一福祉国家と福祉社会、世界の社会福祉一 【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。				第13回 【授】福祉ボランティア 一福祉ボランティアの歴史と特徴一 【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。			
第6回 【授】社会福祉の課題 一貧困・ケア・社会的排除の問題一 【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。				第14回 【授】社会福祉と身近な生活問題4 一認知症の理解一 【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。			
第7回 【授】社会福祉の身近な生活問題1 一虐待の問題一 【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。				第15回 【授】社会福祉と身近な生活問題5 一認知症への対応一 【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。			
第8回 【授】社会福祉と身近な生活問題2 一若者の自立、就労一 【前・後】講義ノートや配付資料を見直しておくとともに、授業中に指示した図書の該当箇所を熟読しておくこと。				第16回 【授】レポート発表			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加	◎	◎	◎	○	○		50
成果発表(口頭・実技)	◎	◎	◎	○	○		50
演習							
その他							
第16回目のレポート発表後に、全体の評価について講評する。							
教科書参考書							
教科書：教科書は使用しない。講義時に資料を配布する。 参考書：授業指定図書(図書館ホームページにて公開)。							
受講に当たっての留意事項							
1. 第1回目に、授業内容・成績評価方法等について説明する。2. 体調不良、就職活動、忌引き等による欠席は配慮する。受講生は出席で不正をしないこと。3. 後半にグループワークを行うため、前半の講義終了後に席移動を行う。4. グループワークでは積極的な参加をお願いしたい。							
学習到達目標							
時代や社会の動きとともに変化し発展してきた福祉理念・福祉政策・援助活動等について理解するとともに、生活問題や福祉の課題について考察する力を身につけることができるようになる。身近な生活問題に関心をいだき、自分の生活問題に対応できる力を身につけることができる。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習